



社会福祉施設等における
新型コロナウイルス感染症対策に係る研修会

新型コロナウイルス 感染症対策について

公益社団法人大阪府看護協会
政策・企画・看護開発部 感染対策担当
感染管理認定看護師
柴谷涼子/岡森景子

contents

感染対策の基本の考え方 日頃から実施すべきこと

- 標準予防策 (手指衛生 PPEの選択と着脱) . . . 3

新型コロナウイルス感染対策

- 基本方針 . . . 12
- 新型コロナウイルス感染症の特徴 (感染経路) . . . 13
- 平常時から実施しておきたいCOVID-19対策 . . . 15
- 各ご施設での対策 . . . 25
- 必要なPPE (個人防護具) . . . 33
- 発生時の対応 (職員発生時含む) . . . 38
- 新型コロナウイルスに有効な消毒薬 . . . 43
- ゾーニング . . . 47

感染症に対する基本の考え方ー標準予防策

全ての人の汗を除く、血液、体液（痰、鼻水、目やに、唾液、膿のついたガーゼ） 排泄物 （尿、便、吐物） ・ 傷のある皮膚、粘膜 を感染の可能性のある物質として対応する

赤字のものに直接接触してはいけません



触れる可能性があるときは、かならず手袋などの個人防護具を付け、外した後は必ず手を洗います

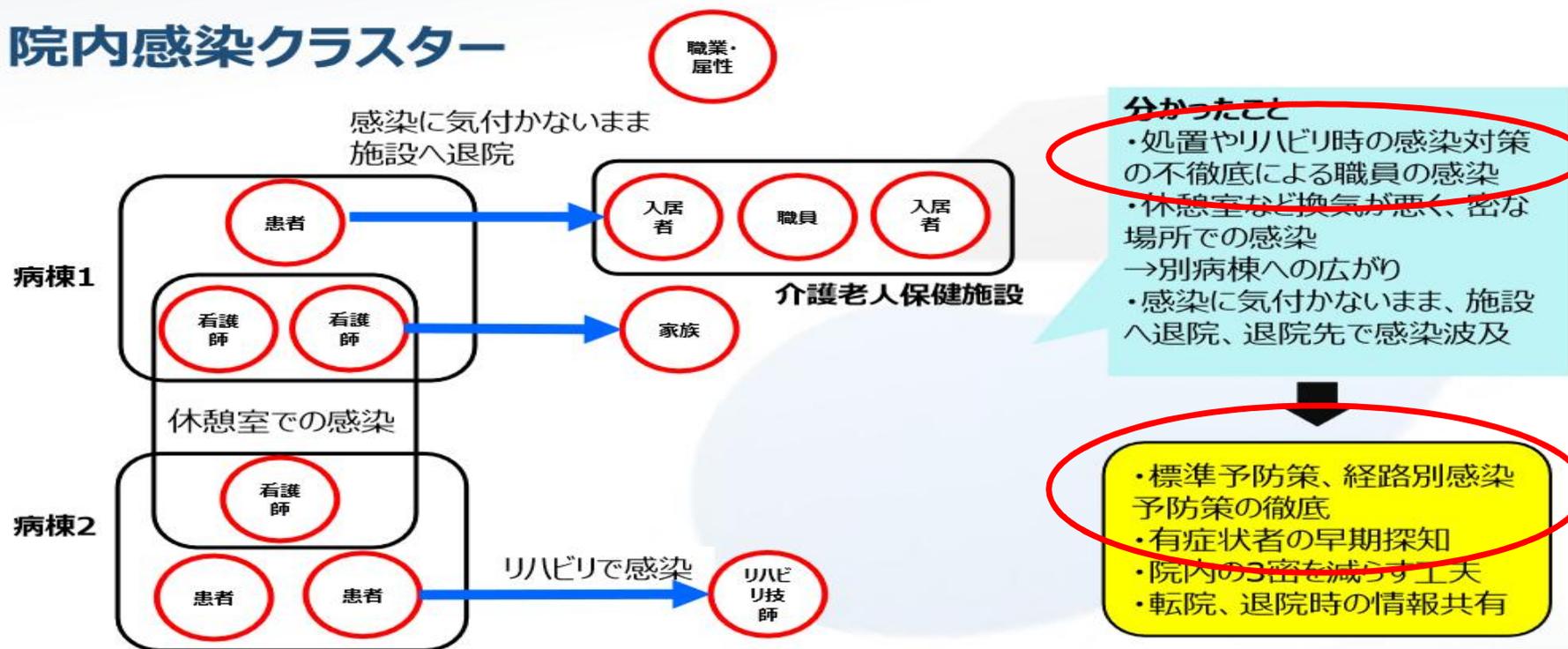
感染症に対する基本の考え方—標準予防策

- 既知のおよび未知なる病原体の伝搬予防のために実施する基本的な感染対策
 - Ⅰ 誰が病原微生物を持っているか分からない
 - Ⅰ どんな検査でも偽陰性は存在するので、検査で陰性であっても病原微生物や耐性菌を保有していないとは限らない
 - Ⅰ HCVやHIVもかつては未知なるウイルスだった

手指衛生と曝露の状況に応じた个人防护具の選択と安全な着脱が最も重要である



院内感染クラスター



標準予防策はケア提供者と支援を受ける人々
双方の感染症を予防するための対策です

手洗い

手洗いには、石けんと水で手を洗う方法と、手指消毒剤を使用した手指消毒があります



石けんと水での手洗い



手指消毒剤を使用した手指消毒

- U 目に見える汚れがある時は、必ず石けんと水で手を洗う
- U それ以外は手指消毒剤による手指消毒、石けんと水による手洗いのどちらでも良い。両方実施する必要はありません。

石けんと水による手洗いの方法



1
初めに、水で手を濡らし、
石けんを手に取ります
First, wet your hands with
water and apply enough soap



2
石けんをよく泡立てなが
ら、手のひらを洗いま
す
Wash your palms while
whipping soap well



3
手の甲を伸ばすように
洗いま
す
Wash it to extend the
back of your hand



4
指先・爪の間を
念入りに洗いま
す
Wash your fingertips and
under nails carefully



5
指の間を洗いま
す
Wash in between
the fingers



6
親指をねじりなが
ら
洗いま
す
Wash while twisting
your thumb



7
手首を洗いま
す
Wash your wrists



8
流水で石けんと
汚れを洗い流しま
す
Rinse off soap and dirt
under running water



9
ペーパータオルでしっか
り
と、水分を拭き取
りま
す
Dry hands using a paper-
towel

手指消毒剤を使用した手指消毒



十分な量を
手の平に取ります
Get an appropriate amount
of product in a cupped
hand



手のひらを
こすりあわせませす
Rub hands palm to palm



手の甲を合わせて
すりこみます
Palm to palm with
fingers interlaced



指先・爪の間に
すりこみます
Rub your palms and
fingertips and under nails



指の間にすりこみます
Rub in between
the fingers



親指をねじり合わせて
すりこみます
Rub each thumb clasped
in opposite hand using a
rotational movement



手首にすりこみます
Rub each wrist with opposite
hand



十分に乾燥した
ことを確認します

次の場面では必ず手を洗いましょう！

- 出勤時と退勤時
- 食事の前
- トイレのあと
- 手袋やマスク、エプロン（ガウン）を取り出す前
- 入所者さんのおむつ交換や食事介助などのケア前後
- 手袋を外したあと
- お掃除のあと
- ごみや感染性廃棄物を取り扱ったあと
- 手が目に見えて汚れているとき

個人防護具

- 個人防護具には手袋、マスク、エプロン（ガウン）、ゴーグルがあります

- 感染する可能性のあるもの

血液、体液（痰、鼻水、目やに唾液、膿のついたガーゼ）

排泄物（尿、便、吐物）

に直接ふれないように着用します

新型コロナウイルス 感染対策



基本方針

㊦ 「持ち込まない対策」の徹底

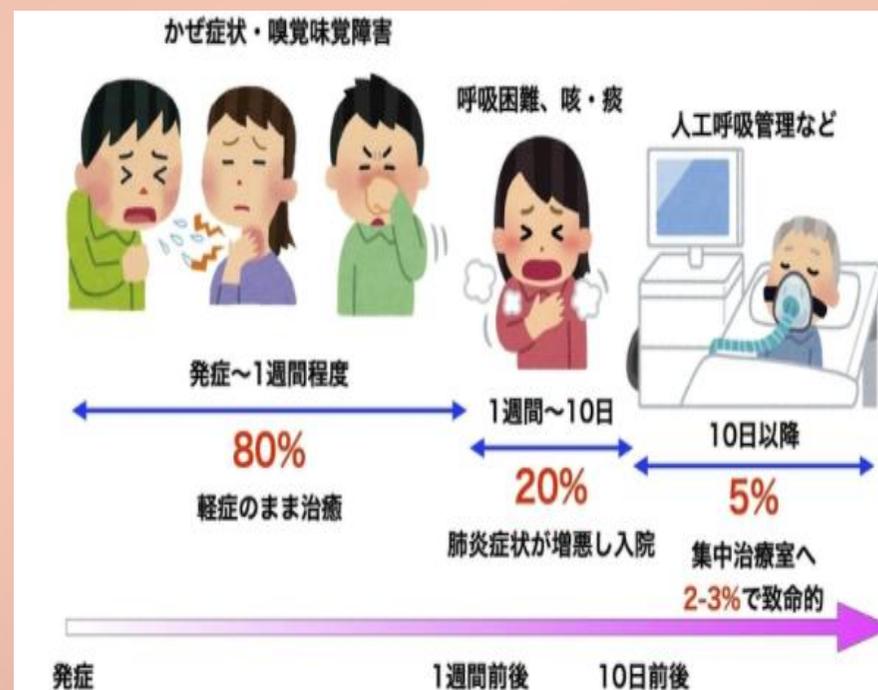
- 外部からのウイルスの侵入を防ぐため、入所者、職員及び来訪者等の健康管理・観察を徹底し、感染経路を遮断する。

㊦ 「早期発見・拡大防止対策」の徹底

- 発熱者等の状況を把握し、感染の兆候をいち早く察知し更なる感染拡大を防ぐ

新型コロナウイルス感染症の特徴

- 感染が伝搬する経路：飛沫感染＋接触感染
 - 感染しているが症状は出現せず経過する人がいる（全感染例の15-45%）
 - 発症2-3日前から直後にかけてが感染性のピーク
- ➡ 多くの伝搬に関与している



新型コロナ どんな症状・経過に注意すれば良い？
忽那賢志 <https://news.yahoo.co.jp/byline/kutsunasatoshi/20200516-00178297/>

新型コロナウイルス感染症の典型的な経過（筆者作成）

新型コロナウイルス感染症の特徴

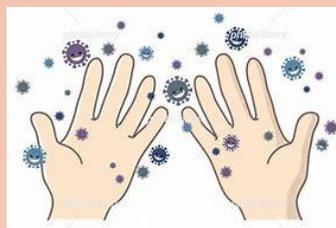
感染が伝搬する経路：飛沫感染 + 接触感染

注意

接触感染



ウイルスが直接皮膚についても感染しません



ウイルスの付着した手で
眼・鼻・口を触ること
によって感染します

平常時から実施しておきたいCOVID-19対策

1. 標準予防策+universal masking
2. 職員の健康観察
3. 有症状職員の対応
4. 食堂、休憩室、会議等
(アクリル板・換気・滞在時間の短縮 など)
5. 利用者/入所者への指導 (マスク・健康管理)
6. 新規入居者への対応 (潜伏期間中の健康チェック、家族も)
7. 面会制限あるいは面会者への健康チェック

universal masking

○すべての職員および利用者/入居者が施設内では
常時サージカルマスクを着用します

- ・無症状、症状軽微な職員・利用者/入居者さんからの
感染防止
- ・症状出現2日前～症状出現直後
咽頭でウイルス増殖 → 感染の可能性あり

universal masking

<マスクの着用が困難な場合>

- ・職員と対面で会話をする機会や、共有スペースを利用される機会にはマスクを着用いただく。無理な場合は利用者さん同士の距離を開ける
- ・どうしてもマスクを着用できない場合は、利用者さんや入居者さんと接触する場合には、職員が感染しないようにゴーグルやフェイスシールドなどで眼の保護を行うようにしましょう。

universal masking 職場では不織布マスクをお勧めいたします

■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
						
						
	吐き出し飛沫量					
	100%	20%	18-34%	50% ^{※2}	80%	90% ^{※2}
	吸い込み飛沫量					
	100%	30%	55-65% ^{※2}	60-70% ^{※2}	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

※2 豊橋技術科学大学による実験値

国立大学法人豊橋技術科学大学 Press Release 2020年10月15日

<https://news.yahoo.co.jp/byline/sakamotofumie/20201130-00210021/>

職員の健康観察と有症状職員の対応

- 就業制限するための基準を決めておきましょう
- 有症状だがPCR陰性の職員をどうしますか？

職員の健康観察と有症状職員の対応

健康チェック管理表	
月 日 ()	
部署名 () 氏名 ()	
体温	() °C
咳	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
咽頭痛	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
鼻汁	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
頭痛	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
臭覚異常	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
味覚異常	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
嘔吐	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
下痢	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

自己管理を職員個々にまかせるだけでなく、管理者は記録として保管しておくのが望ましい

新規入居者への対応 (潜伏期間中の健康チェック、家族も)

- 潜伏期間中（14日間）は健康チェックを厳重に
- 入所前の生活状況によっては個室での行動制限を考慮する必要があります
- ご家族へも症状が出た場合は、施設にご連絡をいただけるよう伝達しておきます

面会制限あるいは面会者への健康チェック

面会時の注意点

- Ⅰ 潜伏期間中（14日間）の健康状態チェック
潜伏期間中に症状があった場合は面会を見送る
- Ⅰ 当日の健康チェック
- Ⅰ 家族・本人はマスク、手指衛生必須。距離を保ち、必要最小限の時間で
- Ⅰ 面会是个室で、部屋の換気忘れずに。使用後の環境清掃
- Ⅰ 面会者・面会日時・連絡先は記録に残す

曝露リスク評価と対応



接触した日から14日間
 低リスク：自分で健康観察
 中・高リスク：就業制限

手指衛生は絶対条件！

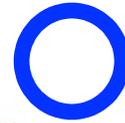
	スタッフ	患者
マスク	(-)	(-)
高リスク		



	スタッフ	患者
マスク	(+)	(+)
低リスク		



	スタッフ	患者
マスク	(+)	(-)
中リスク		



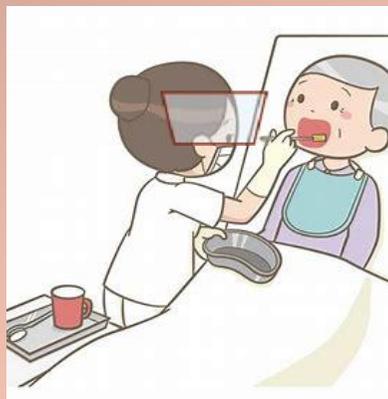
	スタッフ	患者
マスク	(+)	(-)
アイシールド	(+)	(-)
低リスク		

日本環境感染学会
 医療機関における
 新型コロナウイルス
 感染症への 対応
 ガイド第3版

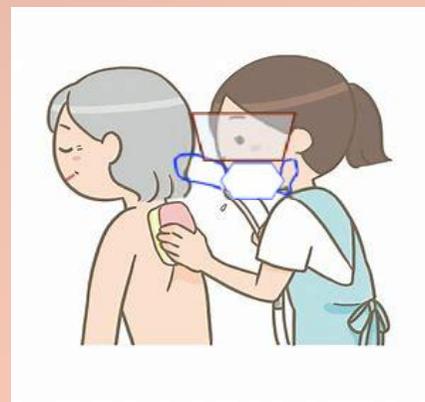
マスクが着用できない利用者さんの日常生活援助場面 (コロナウイルス感染症の診断に関わらず)



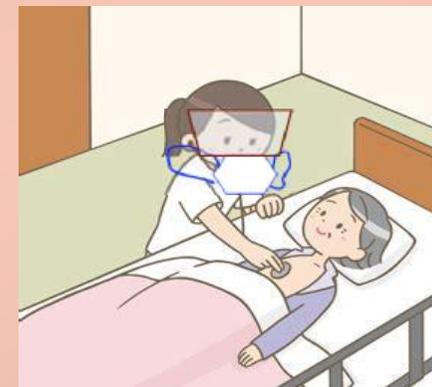
食事介助



口腔ケア



清拭やシャワー
介助



検温

—眼粘膜からの感染を防ぐため、マスクとゴーグルあるいはフェイスシールドを着用します

各ご施設での対策を一部紹介させていただきます

各ご施設での対策



児童養護施設でもアクリル板で
食事時の感染予防



- Ⅰ 食堂での密を避けるために人数制限
- Ⅰ 対面での飲食禁
- Ⅰ 十分な高さのアクリル板

各ご施設での対策

食堂では対面にならない工夫



居室フローアーは椅子の数を減らして距離を保つ



各ご施設での対策



共有スペースの洗面所も
1つおきに使用する

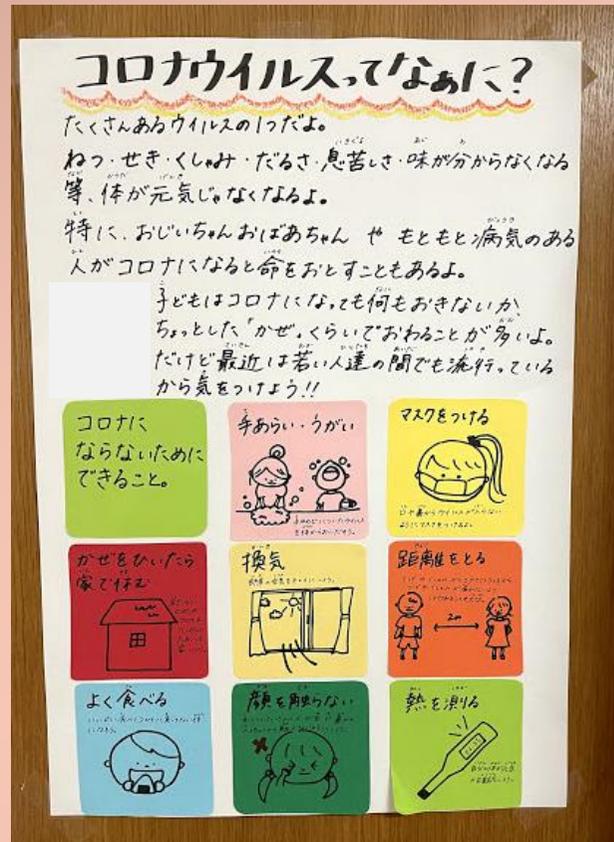
各ご施設での対策



器材の消毒方法が分かりやすく
ポスターで表示

どこを誰が何で清拭するか？
消毒薬の希釈方法 など

各ご施設での取り組み



手洗いやコロナウイルスについての啓発

各ご施設での取り組み



個人防護具の置き場所
の工夫



各ご施設での取り組み



必要な備品の在庫管理を徹底し
いざという時の備えを

新型コロナウイルス感染対策－①必要な個人防護具



キャップ

サージカルマスク
+
アイシールド
あるいはフェイス
ガード

プラスチック
／不織布ガウン

手袋



タイベック®防護服などの全身を覆う着衣の着用は
必須ではない

シューズカバーを使用する必要はない

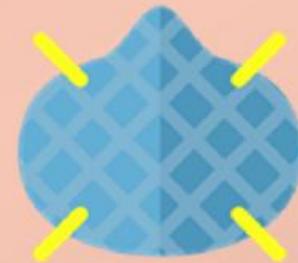


一般社団法人 日本環境感染学会
「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド 第3版」より

新型コロナウイルス感染対策－②必要な個人防護具

エアロゾルが発生しやすい状況

- ｜ 激しい咳症状
- ｜ 気道吸引
- ｜ 誘発採痰
- ｜ 心肺蘇生
- ｜ 嚥下障害のある方の
- ｜ 食事介助/口腔ケア



N95マスク

個人防護具の着脱順序



着るとき

1

・ ガウン

2

・ (N95) マスク

3

・ ゴーグル
・ /フェイスシールド

4

・ ・ キャップ

5

・ ・ 手袋

外すとき

1

・ ・ 手袋



2

・ ガウン



3

・ キャップ

4

・ ゴーグル
・ /フェイスシールド

5

・ (N95) マスク



図1 個人防護具の種類と着脱手順例

【通常の場面】

着用

ポイント①
シールドマスク
→ キャップ
の順に着ける



ポイント②
手袋でガウンの袖を覆う

脱衣

①ガウンと手袋は一緒に、裏返ししながら脱ぐ。



②手指衛生 ③キャップ→シールドマスクの順に 顔に触れないように外す。 ④手指衛生



②と④の手指衛生忘れずに！ 顔に触れない！ 丁寧に手順通り脱ぐ！

※図ではアイシールド付きマスク（シールドマスク）を使用していますが、マスクとゴーグルまたはフェイスシールドの組み合わせも同様です。

正しい防護用具のつけ方と脱ぎ方の動画を 観てみましょう

動画のURL

個人防護具の付け方 <https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=hBtH0-Fjnf4&t=2s>

個人防護具の外し方 <https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=U1JoPNSAoeo>

(株)モレーンコーポレーション

新型コロナウイルス感染対策－隔離

標準予防策

飛沫予防策＋接触予防策



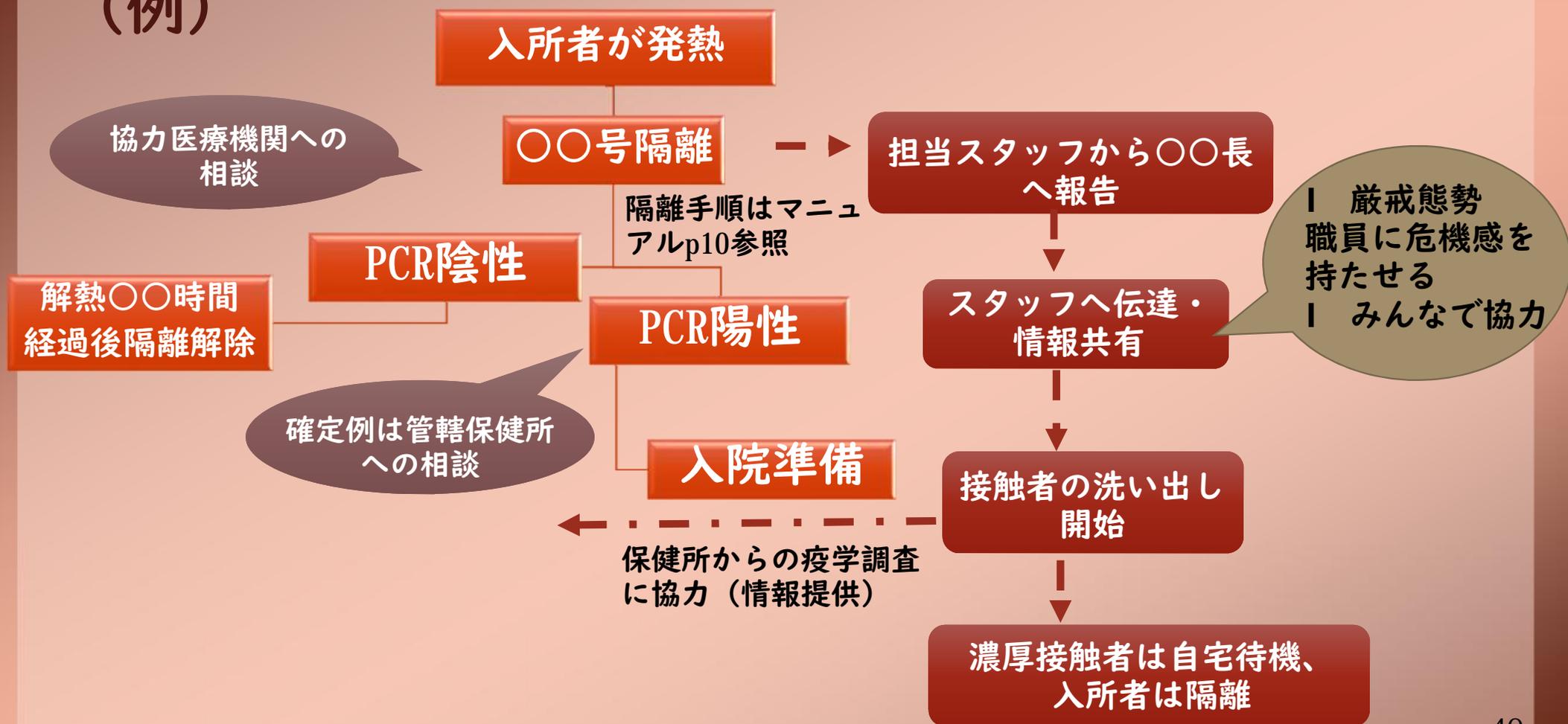
個室隔離

- Ⅰ 新型コロナウイルス感染症が疑われる早い段階から隔離します
- Ⅰ 濃厚接触者と判定される方も同様に隔離します

新型コロナウイルス感染対策

- ・ クラスターを予防するには、疑わしい人を早期に察知し、その後の迅速な対応が必要です！
- ・ 事前に明文化してシミュレーションをし、職員全員に周知しておきましょう

新型コロナウイルス感染症が疑われる場合のフロー (例)



！ 厳戒態勢
職員に危機感を
持たせる
！ みんなで協力

協力医療機関への相談

疑い例が発生した場合/確定例が発生した場合など

- Ⅰ PCRあるいは抗原検査が実施できるか？
- Ⅰ 入院できない場合に往診が可能か？

Ⅰ 厳戒態勢

職員に危機感を持たせる

Ⅰ みんなで協力

- Ⅰ 夜間や休日、いつでも誰でも対応できるように
- Ⅰ ゾーニングの図、発生時（疑い例も含む）のフロー作成
- Ⅰ シミュレーションの実施
- Ⅰ 誰が陽性者を担当するか

新型コロナウイルスに有効な消毒薬

- 熱水 80℃の熱水に10分間
- 塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム） 濃度0.05%
- アルコール 濃度70%以上95%以下のエタノール
- 洗剤（界面活性剤入り）
- **（注）次亜塩素酸水**

(注) 次亜塩素酸水

有効塩素濃度80ppm以上

(ジクロロイソシアヌル酸ナトリウムを水に溶かした製品の場合は100ppm以上)

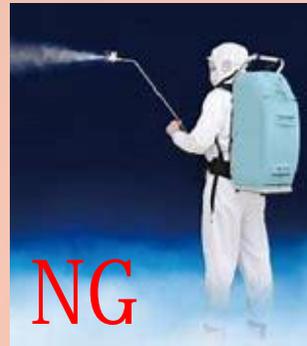
使用方法

次亜塩素酸水をたっぷり使い、消毒したいものの表面をヒタヒタに濡らした後、20秒以上おいてきれいな布やペーパーで拭き取ってください。元の汚れがひどい場合などは、有効塩素濃度200ppm以上のものを使うことが望ましい

新型コロナウイルスに有効な消毒薬

「室内空間で日常的に物品等の表面に対する消毒剤の
(空間) 噴霧や燻蒸をすることは推奨されない」

世界保健機関 (WHO)



新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について (厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html

新型コロナウイルスに有効な消毒薬

U 直接環境に噴霧しない

U 使い捨てのクロスに吹きかけ、クロスで
物理的にふき取る清掃方法で

U 消毒薬(手指消毒剤含む)
は水回りには設置しない

U 直射日光の当たらない冷暗所に置くのが
望ましい

ゾーニング Zoning

病原体によって汚染されている区域（汚染区域）と汚染されていない区域（清潔区域）を区別すること

「急性期病院における新型コロナウイルス感染症アウトブレイクでのゾーニングの考え方」 2020/7/9ver1.0
国立国際医療研究センター 国際感染症センター

ゾーニングを明確にすると・・・

- ｜ 全員が
- ｜ 正しく
- ｜ 個人防護具を着脱
（手指衛生を含む）
感染拡大の防止

ゾーニング Zoning

レッドゾーン

コロナウイルス感染症の方が入室されていて、コロナウイルスで汚染されている場所（常に個人防護具を着用）

イエローゾーン

レッドゾーンとグリーンゾーンの間
個人防護具を脱ぐ場所

グリーンゾーン

コロナウイルスで汚染されていない場所
（個人防護具を着用していない場所）

ゾーニングの原則

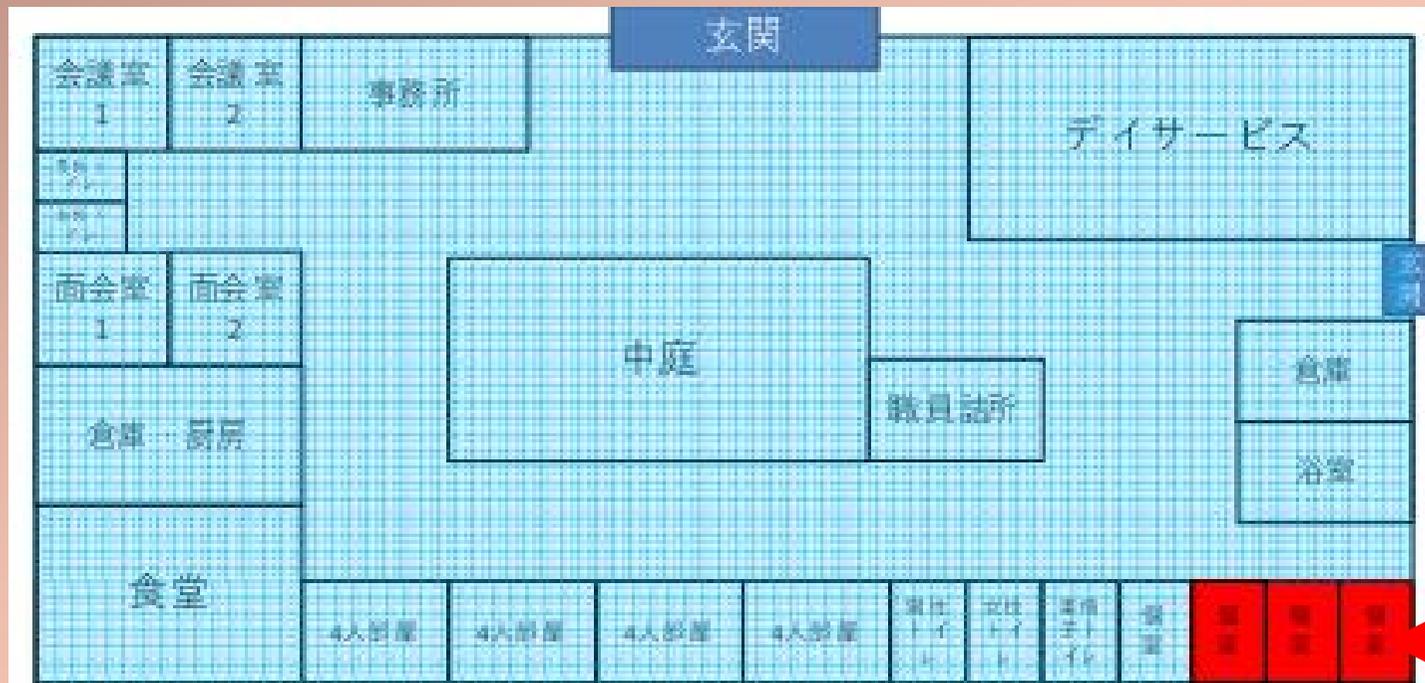
- レッドゾーンとグリーンゾーンを明確に区別する
- レッドゾーンは可能な範囲で狭く設定する。
- 事務所やスタッフが休む場所は原則としてグリーンゾーンとする。
- 職員はレッドゾーンに入るときに必要な個人防護具を着用し、レッドゾーンから出る際には個人防護具を脱衣する。

ゾーニングの原則

- **レッドゾーン**で職員は飲食をしない、私物を持ち込まないことを遵守する。
- 確定の利用者同士の同室は可
- 疑いの利用者同士の同室は不可（互いに感染させてしまう可能性があるため）
- 濃厚接触者の同室は不可（互いに感染させてしまう可能性があるため）

ゾーニングの1例

部屋ごとにゾーニングを行う例（疑似症や濃厚接触者にそれぞれ個室が用意でき、また部屋から出てこない指示を守れる場合）



居室内にトイレがない場合はポータブルトイレの設置を考慮

個室

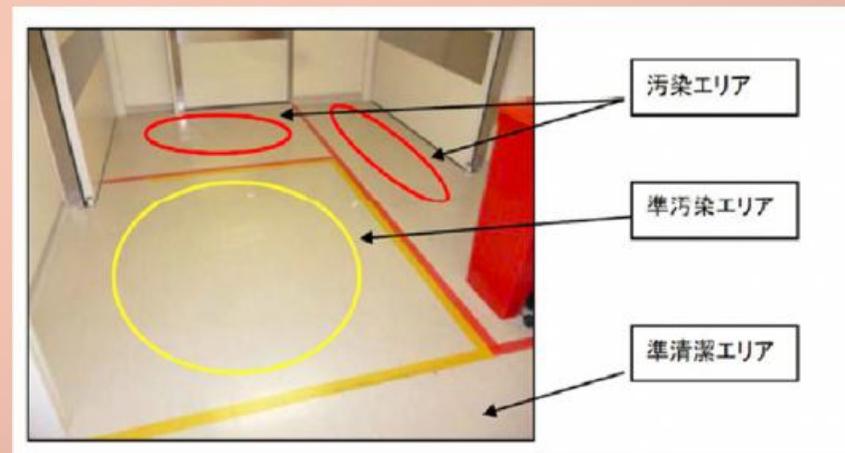
- 入所者が部屋から出てこないことを守れる場合

赤 汚染
青 清潔

ゾーニングの1例

部屋ごとにゾーニングした場合の脱衣スペースは、パーティションなどで覆う必要はなく、床にビニールテープなどを貼ってエリアの目安が分かれば良いです

奈良県福祉医療部『社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル（令和2年10月）より』



ゾーニングの1例



新型コロナウイルス感染症の感染経路は
飛沫と接触

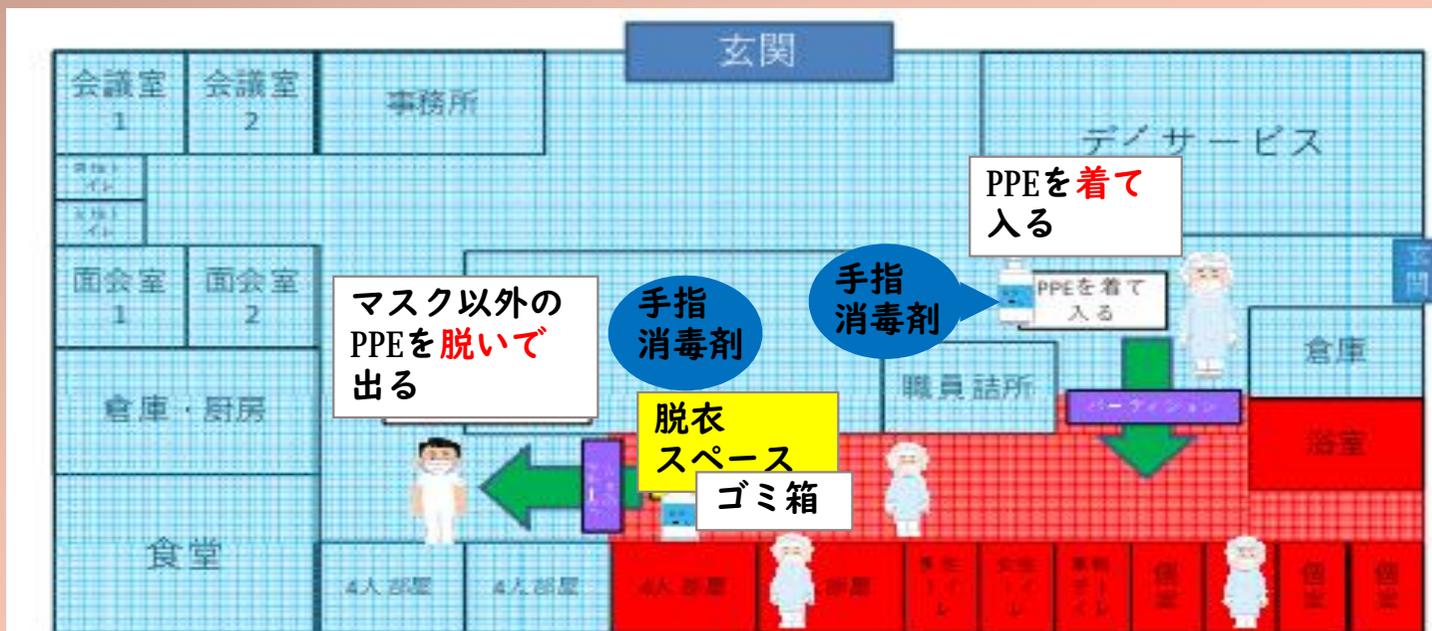
空気感染ではありません

ビニールカーテンなどをつると、
返って空気の流れを妨げることにもなり
ます。消毒もたいへん

カラーテープで表示すればよい

ゾーニングの1例

入所者・患者が部屋から出ない指示が守れない場合、全員が確定患者の場合などに、やむをえずエリアごとにゾーニングする場合。ただし疑似症や濃厚接触者同士の場合は、お互いに感染させあう可能性があるため、基本的には行わない。



レッドゾーンではトイレ/浴室が専用に使われるのが望ましい

- 全員が感染確定患者の場合
- 入所者が部屋から出てきてしまう場合
- **動線の基本は1方向** (出口と入口を別にするのが理想)

青	清潔
黄	中間
赤	汚染

ゾーニングする場合の確認事項

- ρ 部屋の前に明確な掲示があるか？ 間違って個人防護具なしで入ってしまう人がいるので要注意
- ρ 個人防護具の着脱エリアと掲示物、物品補給は適切か？
- ρ 室内は定期的に換気されているか？
- ρ 食器は使い捨て、または 80℃10 分の熱水洗浄をしているか？
- ρ 衣類・リネン類の汚染区域からの持ち出しと洗浄・消毒方法（80℃10 分の熱水洗浄など）は決まっているか？

ゾーニングする場合の確認事項

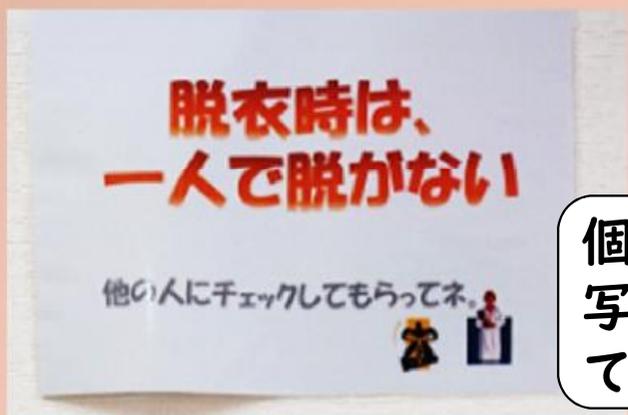
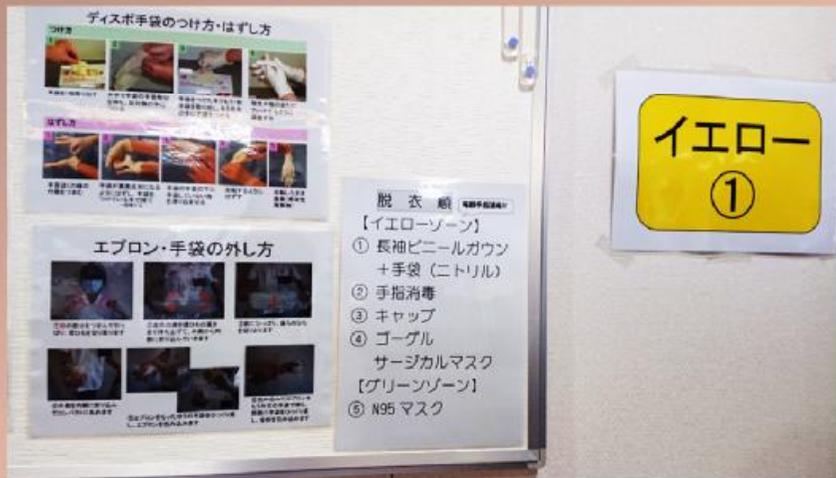
▶ トイレ、入浴の手順は決まっているか？

▶ 出室する場合、誘導者は必要な個人防護具着用し、誘導経路を決め、トイレ前後の消毒手順などを決めておく。

▶ ゴミの廃棄手順は決まっているか？

イエローゾーンでの工夫

大阪市立十三市民病院の例



個人防護具脱衣時は、危険！！
写真や図で分かりやすく疲れてい
ても安全に脱衣できる工夫も大事

イエローゾーンでの工夫

大阪市立十三市民病院/千船病院の例



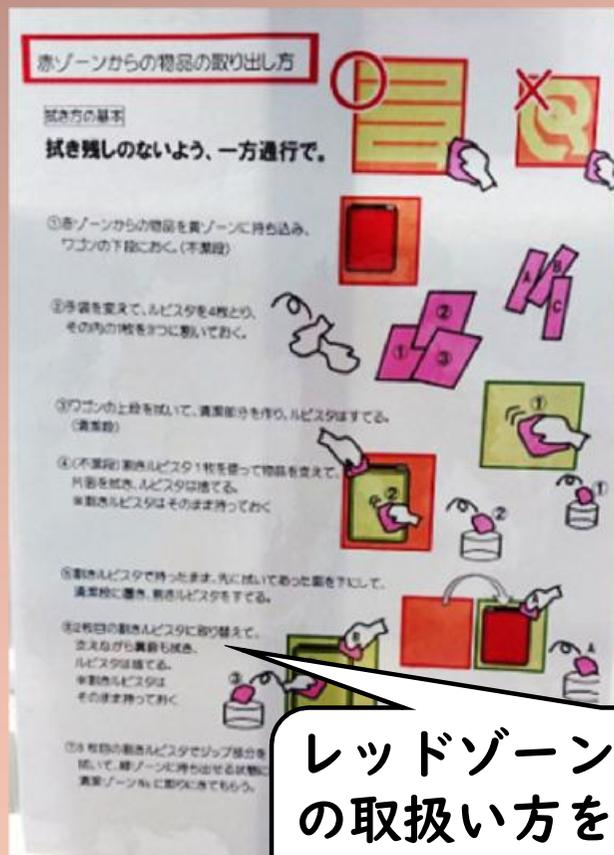
鏡の設置や行動指示を
わかりやすく示すことも大事



ゾーニングの色に合わせ床や物品
にもカラーリング
一目でわかる工夫で交差を予防

イエローゾーンでの工夫

大阪市立十三市民病院の例



レッドゾーンから持ち出す際の取扱い方を掲示。わかりやすく図で説明



レッドゾーンからグリーンゾーンへの連絡用ホワイトボード。ちょっとした確認の際に便利

新型コロナウイルス感染対策－その他の対策

- Ⅰ 食器や洗濯は通常の対応で可能。レッドゾーンから持ち出す場合はビニール袋に入れるか使い捨てにします
- Ⅰ トイレが専用にはできない場合、ポータブルトイレの設置を考慮します。可能ならおむつなどに吸収させ、密閉して廃棄します



新型コロナウイルス感染対策－その他の対策

- ▶ ポータブルトイレを共有する場合は入所者ごとに消毒が必要です

- ▶ 居室にシャワーがない場合、清拭のみにするか、グリーンゾーンのシャワーを使用する場合は、順番を最後にします。使用后、風呂用洗剤で清掃と換気を行います。バスマットは共有してはいけません

職員へのケア

- 新型コロナウイルス感染症に係る正しい情報提供をしましょう
- 個人防護具の着脱や発生時のシミュレーションなどトレーニングを行い、不安軽減に努めてください
- 新型コロナウイルス感染症発生時に、担当する職員の配置や体制などはあらかじめ説明し、職員の納得を得ておきましょう

職員へのケア

- **新型コロナウイルス感染症を担当する職員の宿泊等については事前に検討しておきましょう**
- **メンタルケア体制の整備をしておきましょう**

Take Home Message

正しい知識と情報こそが正しい判断を導きます